



♡♡♡ 小さな手が守る大きな未来 ♡♡♡

年長児「ビーチクリーン」

年長児達が「ビーチクリーン活動」に参加します。自然に触れながら環境を大切にする心を育てることを目的とした体験活動です。海岸に落ちているゴミを拾いながら「どうしてゴミ箱に捨てないんだろう?」「お魚さんは大丈夫かな?」と、子ども達の素直な気づきが生れます。この活動は SDGs の中でも「海の豊かさを守る」「作る責任使う責任」などに繋がる大切な学びの体験です。

ご家庭でも、お子さんと自然や地球について話すきっかけにしてみてください。

「ビーチクリーン活動」に参加するにあたり、ボランティアとしてお手伝いしていただける保護者の方を募集します。

学年は問いません! つぼみぐみから年長まで、興味のある方はぜひお手伝い下さい。

◇日 時 : 7月4日(金)*予備日11日(金) 10:20~13:00(現地集合・現地解散)

◇場 所 : 銭函サンセットビーチ

◇持ち物 : 軍手・ゴミ袋・火ばさみ(あったらでかいです)

◇その他 : 海風の影響で寒く感じるかもしれませんので上着をご持参下さい。

駐車場は余裕がありますが乗り合いでお越し頂けると助かります。

年長児達の終了後も集めたゴミの処理をして頂きますのでご留意下さい。

参加して頂ける方は、6月20日(金)までに CODOMON にて副園長のまさこ先生までご連絡下さい。皆さんのご協力をお願い致します。

♪月♪つぼみぐみ親子保育♪月♪

親子で一緒に園生活の一部を体験していただきます。朝の会では「ハイ元氣です!」と手を挙げる姿がとても微笑ましいですよ(笑)「あいうえおの歌」や「ドレミ体操」では、リズムに合わせて体を動かし、自然と笑顔があふれます。親子で楽しく触れ合う時間を大切にします。園での生活リズムを知るきっかけとしてご参加下さい!



「笑い」という感情表現 ~その光と影~

私達人間にとって「笑う」という行動は非常に自然で、日常の中で当たり前のように起きています。

可愛い我が子の無邪気な笑顔に癒されたり、家族との団欒で思わず吹き出してしまったり、笑いには、人との距離を縮め、心を繋ぐ力があります。

心理学の世界では、笑いの持つ「親和性」がよく知られています。笑いは他者との関係を築く上でとても効果的な道具ですね。共に笑い合う経験は、信頼や安心感、連帯感を生み出し、特に子どもにとって、親や先生と一緒に笑ってくれることは「受け入れてもらえた」という感覚に直結します。

その一方で、笑いには「ダークサイド」、つまり影の側面も存在します。

心理学では、笑いには大きく分けて4つのタイプがあるとされます。一つは「温かく親しみのある笑い」、二つ目は「自己強化型の笑い」、三つ目が「攻撃的な笑い」、四つ目が「自己否定的な笑い」です。

特に注意が必要なのが「攻撃的な笑い」です。例えば、誰かの失敗を嘲笑うような笑い。他人をからかうことで自分の優位性を保持する笑い。これは仲間内で共有することで「笑いながら排除する」という無言の圧力になることがあります。皆さんも「いじり」と「いじめ」の境界線の曖昧な場面を経験したことがあるのではないのでしょうか。「笑っているからいいじゃない!」「悪気はなかった」と済まされがちですが、笑われた側には深い傷が残ることがありますね。

実はこの笑いの影には「仲間でありたい」という人間の根源的な欲求が隠れているそうです。つまり「共に笑う」ことでグループの一体感を感じたいという気持ちで、そのために誰かを笑い者にしてしまう…これが笑いの親和性が攻撃性にすり替わる瞬間です。

さらに子どもは、周囲の笑いの文化を敏感に学習します。家庭の中で誰かを見下したり、軽んじたりする笑いがあれば、それは「しても良いこと」と覚え、逆に失敗しても温かく笑って受け止めてくれる家庭で育てば、「笑い=安心」のイメージが育ちます。

私達大人が心掛けなければならないことは、子ども達が「誰かを傷つける笑い」ではなく、「心が繋がる笑い」を身に付けるよう、日々の姿勢で示すことです。

誰かの失敗を笑う前にその人の気持ちを想像してみる!

笑いの対象が「人」ではなく「出来事」になるように意識する!

自分自身の失敗をちょっとしたユーモアに変える姿を見せる!

笑いは本来、とても大切な人間の感情です。だからこそ、その力を「誰かを傷つけるため」ではなく、「誰かと繋がるため」に使って欲しいですね。

お子さんが、他人を思いやりながら、心から笑い合える人に育つよう、私達大人がその姿を見ることが何よりも大切です!